

2014年7月23日

各位

東燃ゼネラル石油株式会社  
問合せ先：  
EMGマーケティング合同会社  
広報渉外本部  
TEL:03-6713-4400

**2014年度 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞 受賞者決定のお知らせ**

東燃ゼネラルグループは、2014年度東燃ゼネラル児童文化賞および音楽賞(以下「当賞」)の受賞者を次の通り決定しましたので、お知らせいたします。

9月18日(木)ホテルオークラ東京で行われる贈賞式において、受賞者にはそれぞれトロフィーと副賞賞金200万円が贈られます。また、受賞記念公演を10月23日(木)紀尾井ホールにて開催する予定です。

**第49回 東燃ゼネラル児童文化賞 受賞者**

公益財団法人 東京子ども図書館

(こうえきざいだんほうじん とうきょうこどもとしょかん)

**第44回 東燃ゼネラル音楽賞 受賞者**

邦楽部門	中川 善雄	(なかがわ よしお)	邦楽囃子 笛方
洋楽部門 本賞	佐々木 典子	(ささき のりこ)	ソプラノ
洋楽部門 奨励賞	下野 竜也	(しもの たつや)	指揮

10月23日(木)に紀尾井ホールにて開催される受賞記念公演には、本年度も一般の方100名様を抽選でご招待いたします。詳細につきましては当グループのホームページ(<http://www.tonengeneral.co.jp/>)で9月中旬にご案内する予定です。

私たち東燃ゼネラルグループは、企業も社会を構成する市民の一員であり、社会に貢献する活動を続けていくことは企業の大切な責任のひとつであると考えています。

当賞は、1966年にモービル児童文化賞、1971年にモービル音楽賞として創設されました。2001年にはエクソンモービル児童文化賞・音楽賞として継承され、さらに2012年6月に東燃ゼネラルグループの発足

に伴い、名称を東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞と改めました。

これからも、私たちはこの賞の持つ『一時の流行に惑わされることのない選考を通して、わが国の児童文化、音楽文化の発展、向上に尽くしてこられ、今後それぞれの分野の将来を担われる方々をたたえ励ましたい』という意義を大切にまいります。私たちは、この賞を通じて人々が感動し笑顔になれば、子供達の明るい未来に繋がるような社会・文化貢献を進めていきたいと考えております。

以上

添付 1: 贈賞理由及び受賞者のプロフィール

添付 2: 東燃ゼネラル児童文化賞・音楽賞の概要

添付 3: 歴代受賞者リスト

#### 東燃ゼネラルグループについて

東燃ゼネラルグループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に、複数の子会社・関連会社で構成されています。当グループは、1893 年より日本で石油製品を扱ってきました。現在は安全や環境に配慮しながら、原油の調達、輸送、精製・生産、物流、販売のサプライチェーン全般を担っています。そして今後も安定的にエネルギーを供給し、日本を未来へと動かすエネルギーカンパニーになることを目指しています。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しています。

詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。<http://www.tonengeneral.co.jp/>

## 1. 第 49 回 東燃ゼネラル児童文化賞

公益財団法人 東京子ども図書館  
(こうえきざいだんほうじん とうきょうこどもとしょかん)

〒165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10  
Tel: 03-3565-7711/ Fax: 03-3565-7712  
<http://www.tcl.or.jp/>

◆ 贈賞理由 ◆

「東京子ども図書館」(理事長・松岡享子)は、東京都内で開設されていた家庭文庫——石井桃子の「かつら文庫」、土屋滋子のふたつの「土屋文庫」、松岡享子の「松の実文庫」を母体にして 1974 年に設立された。以来 40 年にわたって、子どもの本と読書に関わる私立図書館として、図書の閲覧や貸し出し、資料室の運営、お話会やブックトークなどとともに、講演や講座の開催、講師の派遣、定期刊行物「こどもとしょかん」や「おはなしのろうそく」他の書籍刊行など、子どもの読書文化活動推進の拠点として、重要な役割を担ってきた。また、将来児童図書館や学校図書館で働くことを目指す若い人たちの研修制度を設けるなど、多分野にわたり子ども文化向上に果たした功績は高く評価される。

(児童文化賞 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

東京子ども図書館は、日本でも数少ない、子どもの本と読書を専門とする私立の図書館で、1950 年代から 60 年代にかけて都内 4 カ所で始められた家庭文庫を母体として 1974 年に設立された。以来、子どもたちへの直接サービスだけでなく、子どもの本と読書に関心をもつおとなのために、資料室の運営、調査研究、講習会・講演会の開催、出版など、多くの活動を展開してきた。近年は、人材育成事業、外国籍をもつ子どもたちへの読書支援活動、東日本大震災の復興支援プロジェクトなど、新しい活動分野を広げている。こうした地道な活動が認められ、2010 年 10 月には、内閣総理大臣より「公益財団法人」の認定を受けた。2013 年には、当館名誉理事の児童文学者・石井桃子さんの始めたかつら文庫を改装し、2014 年 4 月から、石井さんの書斎のほか、児童文学者・渡辺茂男さんの蔵書を収めた書庫や、全国の子どもの読書推進活動を紹介する「マップのへや」等を公開している。

◆ 主な受賞歴 ◆

1974 年 第 14 回久留島武彦文化賞特別賞  
2000 年 第 30 回野間読書推進賞特別賞

## 2. 第 44 回 東燃ゼネラル音楽賞 邦楽部門

中川 善雄 (なかがわ よしお)

邦楽囃子 笛方

### ◆ 贈賞理由 ◆

邦楽囃子は、横笛、太鼓類、その他の打楽器で構成されるアンサンブルであり、歌舞伎と多くの邦楽のジャンルの演奏で不可欠な役割を担っている。その中での笛方は、確定した音高をもたない能管を演奏するとともに、篠笛を精密に確定された音高で演奏する。中川善雄氏は、この二種の笛とともに、長唄や囃子の他の楽器を習得し、笛の専門家として活動を開始し、現在は、第一線の演奏家・作曲家として活動している。また、東京藝術大学の客員教授としても指導に当たっている。中川善雄氏は、演奏する作品の様式と性格についての深い解釈を、優れた演奏能力で表現し、笛の音楽の精密さを高め、新しい地平を開いていることが、高く評価される。

(音楽賞邦楽部門 選考委員会)

### ◆ 略歴 ◆

1946 年藤舎秀蓬の二男として滋賀県大津市に生まれる。12 歳の頃より父から笛の手ほどきを受け、長唄を故三世今藤長十郎(人間国宝)、故今藤綾子(人間国宝)に師事。囃子を伯父の故四世藤舎呂船に師事。1965 年東京芸術大学音楽学部入学、在学中は故六世福原百之助(人間国宝・寶山左衛門)に師事。1969 年同大卒業。1989 年より富山県南砺市城端に於いて笛の独奏曲、笛一管による長唄曲を中心に演奏会を毎年開催している。1995 年金沢市民芸術ホールにて市主催「至芸の会 中川善雄を聴く」開催。同年 7 月と 2006 年 12 月に紀尾井ホールにてリサイタルを開催。2010 年三越劇場主催三越名人会「笛の魅力」。2004 年より金沢三茶屋街(東、西、主計町)と一般の門弟の指導。NHK 邦楽番組、国立劇場主催公演、長唄演奏会や舞踊会の他箏曲演奏会等に出演。長唄協会会員、藤舎囃子研究会、真しほ会同人、現代邦楽作曲家連盟会員。東京芸術大学音楽学部邦楽科客員教授。

### ◆ 主な受賞歴 ◆

2006 年 第 26 回伝統文化ポラ賞優秀賞

2014 年 第 35 回松尾芸能賞邦楽優秀賞

### 3. 第 44 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門本賞

佐々木 典子 (ささき のりこ)  
ソプラノ

公益財団法人 東京二期会  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12 二期会会館内  
Tel: 03-3796-1818/ Fax: 03-3796-4710  
<http://www.nikikai.net/>

#### ◆ 贈賞理由 ◆

磨きぬかれた美声と豊かな歌唱力で多くの聴衆を魅了してきた佐々木典子氏は、日本を代表するソプラノ歌手として約 30 年に及ぶ見事な実績を持っている。武蔵野音楽大学卒業後渡欧、ウィーン国立歌劇場オペラスタジオを経て同歌劇場専属となり、多数の舞台を経験。欧州でのプロフェッショナルな歌手生活で得たものは計り知れないほど大きく、帰国後の日本での活躍に活かされていった。日本オペレッタ協会、二期会、新国立劇場、びわ湖ホール等のオペラで数々の主役を務め、オーケストラとの共演などコンサートでも活躍。数多いレパートリーのなかで、特に R. シュトラウスでは、典雅なウィーンの雰囲気や往年の貴族の気品などを的確に表現して、他の追随を許さない独自の世界を確立している。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

#### ◆ 略歴 ◆

武蔵野音楽大学卒業。ザルツブルク・モーツァルテウム芸術大学オペラ科を首席で卒業。1984 年から 2 年間ウィーン国立歌劇場オペラ研究所に所属。86 年同歌劇場専属ソリストとして本契約。86、89 年ウィーン国立歌劇場日本公演、87、88、89、92 年ザルツブルク音楽祭に出演。94 年に帰国後、W.A. Mozart のオペラ「魔笛」パミーナ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「コジファントウツテ」フィオリディリージ他、R. Strauss のオペラ「ばらの騎士」元帥夫人、「カプリッチョ」伯爵令嬢他、R. Wagner のオペラ「タンホイザー」エリザベート等、数多くの作品に出演。卓越した音楽性と表現は、世界的巨匠をはじめとする共演者からも常に尊敬の対象とされている。コンサートでは、R. Strauss の「四つの最後の歌」を始め、ドイツ作品を数々演奏している。東京二期会会員。東京芸術大学教授。

#### ◆ 主な受賞歴 ◆

1990 年 熊本市女性賞  
2000 年 第 2 回ホテルオークラ音楽賞

#### 4. 第 44 回 東燃ゼネラル音楽賞 洋楽部門奨励賞

下野 竜也 (しもの たつや)  
指揮

株式会社 AMATI  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-5  
アークヒルズエグゼクティブタワーS201  
Tel: 03-3560-3007/ Fax: 03-3560-3008  
<http://www.amati-tokyo.com/>

##### ◆ 贈賞理由 ◆

2001 年に指揮者の登竜門であるブザンソン国際指揮者コンクールで優勝を果たして以来、下野竜也氏の躍進が止まらない。2006 年には読売日本交響楽団から初の正指揮者に任ぜられ、優れた活動で確固たる地位を築き、首席客演指揮者就任後も、堅実かつ果敢な指揮能力と音楽が求めるものを素直に引き出す抜群の解釈力によって、内外のオーケストラから熱いエールを送られている。ドイツ・ロマン派の音楽を核に、常に作品に真摯に向き合い作曲家の意図を的確に引き出してきた下野氏だが、近年は得意であった現代音楽はもとより、オペラにも挑戦し多大な成果を収めている。今上り坂にある下野氏の指揮芸術が、さらに大きく開花することを期待して東燃ゼネラル音楽賞奨励賞を贈賞する。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

##### ◆ 略歴 ◆

1969 年鹿児島生まれ。2000 年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001 年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。2006 年に読売日本交響楽団の初代正指揮者に迎えられ、2013 年 4 月からは、同団の首席客演指揮者を務めている。その間、2011 年には広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。更に 2014 年 4 月からは、京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本をはじめ、数多くの音楽祭にも参加。近年はオペラの分野でも新国立劇場、日生劇場、二期会をはじめとした注目の公演で指揮を務めている。上野学園大学音楽学部教授。

##### ◆ 主な受賞歴 ◆

2002 年	第 12 回出光音楽賞
2002 年	第 10 回渡邊暁雄音楽基金音楽賞
2006 年	第 17 回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞
2007 年	第 6 回齋藤秀雄メモリアル基金賞
2011 年	第 32 回音楽クリティック・クラブ賞
2012 年	第 24 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞
2013 年	第 63 回芸術選奨文部科学大臣賞

## 東燃ゼネラル児童文化賞・東燃ゼネラル音楽賞 概要

東燃ゼネラル児童文化賞及び東燃ゼネラル音楽賞は、日本の児童文化、音楽文化の発展・向上に大きく貢献した個人または団体をたたえる目的で創設されました。毎年、児童文化賞、音楽賞邦楽部門、音楽賞洋楽部門本賞、音楽賞洋楽部門奨励賞の4賞につき、各々1個人または1団体が選ばれ、それぞれトロフィーと副賞賞金200万円が贈られます。

### 【東燃ゼネラル児童文化賞】

1966年に創設された児童文化賞は、今年で49回を数える歴史ある賞に発展しました。受賞者と受賞分野の多彩さがこの賞の特色であり、作家、学者、研究者、評論家、歌手、俳優、野草園長、子供新聞の編集発行、人形劇の祭典、ミュージカル主宰など、全国的に著名な活動からあまり知られていない地域の活動まで、児童文化の各種分野から幅広く受賞者が選ばれています。

### 【東燃ゼネラル音楽賞】

1971年に創設された音楽賞は、今年で44回目を迎えます。また、洋楽部門では1989年より、日本を代表する優れた若手音楽家を讃えるために奨励賞が設けられています。邦楽部門においては、これまでに21人の受賞者が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。邦楽部門・洋楽部門を併せ持ち、単年度内の功績ではなくそれまでの実績全体に視点を置いた選考を行っている点がこの賞の特色です。

### 選考方法

児童文化界、音楽界の有識者の方々に受賞候補者の推薦を依頼し、その結果を参考にして、各部門3名の選考委員により構成される選考委員会において審議の上、受賞者を決定しました。

### 選考委員（敬称略、順不同）

#### 【児童文化賞】

松居 直	児童文学者
野上 暁	児童文化研究家
仲居 宏二	聖心女子大学教授

#### 【音楽賞 邦楽部門】

徳丸 吉彦	お茶の水女子大学名誉教授 聖徳大学教授・京都市立大学客員教授
山川 直治	日本音楽研究家
塚原 康子	東京藝術大学教授

#### 【音楽賞 洋楽部門】

関根 礼子	音楽評論家
中村 孝義	大阪音楽大学理事長
諸石 幸生	音楽評論家

## 東燃ゼネラル児童文化賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1966	初山 滋* 日本童話会	童画家 会長・後藤 樽根*
2	1967	千葉県三* 人形劇団プーク	童話作家 代表・川尻泰司
3	1968	棕 鳩十* ダークダックス	児童文学者 コーラスグループ
4	1969	金沢嘉市* 市川市立養護学校の詩集「いずみ」	教育評論家
5	1970	眞理ヨシコ 戸塚 廉*	童謡歌手 「おやこ」新聞編集発行
6	1971	吉澤 章*	折り紙作家
7	1972	菅野邦夫	仙台市野草園園長
8	1973	アン・ヘリング	児童文学研究家
9	1974	滝平二郎*	きり絵作家
10	1975	辻村ジュサプロー	人形作家
11	1976	富田博之* 劇団「風の子」	青少年文化研究者 代表・多田 徹
12	1977	坂本小九郎と湊中学校養護学級の生徒達	美術教育と版画制作
13	1978	佐野浅夫 瀬川康男*	俳優 絵本作家
14	1979	田沼武能	写真家
15	1980	渡辺茂男*	児童文学者
16	1981	ろばの会	作曲家グループ
17	1982	富山県立近代美術館	館長・小川正隆
18	1983	萩本欽一	TVタレント
19	1984	長崎県外海町	町長・平野武光
20	1985	東京放送児童合唱団	代表・近藤真司
21	1986	手で見るギャラリー・TOM	代表 村山亜土・村山治江
22	1987	ポニージャックス	コーラスグループ
23	1988	人形劇カーニバル飯田実行委員会	実行委員長・松澤太郎
24	1989	岡本忠成*	アニメーション作家
25	1990	与田準一*	童謡・童話作家
26	1991	今西祐行*	児童文学作家
27	1992	「中学生日記」	NHKテレビ番組
28	1993	松居 直	福音館書店会長
29	1994	香川県大川郡大内町	町長・中條弘矩
30	1995	「まんが日本昔ばなし」	テレビアニメ番組:愛企画センター制作
31	1996	神沢利子	児童文学作家
32	1997	阪田寛夫*	詩人・作家
33	1998	細川真理子	「札幌こどもミュージカル」代表
34	1999	太田大八	絵本画家
35	2000	谷川俊太郎	詩人
36	2001	大原れいこ	テレビ演出家
37	2002	長 新太*	絵本作家
38	2003	山中 恒	児童文学作家
39	2004	越部信義	作曲家
40	2005	松谷みよ子	作家
41	2006	演劇集団 円 円・こどもステージ	児童劇
42	2007	佐藤さとる	児童文学作家
43	2008	今江祥智	児童文学作家
44	2009	神宮輝夫	児童文学研究家・翻訳家
45	2010	今森光彦	写真家
46	2011	河合雅雄	霊長類学者
47	2012	加古里子	児童問題研究家
48	2013	角野栄子	作家

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞邦楽部門 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	山口五郎*	琴古流尺八
2	1972	松崎倭佳* 稀音家幸*	長唄 唄方 長唄 三味線
3	1973	菊原初子*	地歌 箏曲
4	1974	田中伝左衛門*	歌舞伎 長唄囃子
5	1975	杵屋正邦*	現代邦楽作曲
6	1976	観世寿夫*	能楽 シテ方
7	1977	山彦河良*	河東節
8	1978	杵屋佐登代*	長唄 唄方
9	1979	鶴田錦史*	薩摩琵琶
10	1980	町田佳聲* 福原百之助*	邦楽研究評論 長唄 囃子笛方
11	1981	太田里子*	地歌 箏曲
12	1982	今藤長十郎*	長唄 三味線
13	1983	都 一中*	一中節 三味線
14	1984	常磐津文字兵衛	常磐津節 三味線
15	1985	浅川玉兎* 竹本住大夫	長唄研究 義太夫節太夫
16	1986	杵屋五三郎*	長唄 三味線
17	1987	中田博之*	箏曲
18	1988	平井澄子*	現代邦楽
19	1989	米川敏子*	箏曲
20	1990	日本音楽集団	現代邦楽創造グループ
21	1991	尺八三本会	尺八
22	1992	宮田哲男	長唄 唄方
23	1993	一噌幸政*	能楽笛方
24	1994	都一いき*	一中節
25	1995	藤井久仁江*	地歌 箏曲
26	1996	竹本駒之助	女流義太夫
27	1997	芝 祐靖	雅楽
28	1998	観世榮夫*	能楽 シテ方
29	1999	鶴澤清治	文楽 三味線方
30	2000	田島佳子*	長唄 三味線方
31	2001	山本東次郎	大蔵流狂言
32	2002	川瀬白秋*	箏曲 胡弓
33	2003	大和久満*	大和楽 三味線方
34	2004	米川裕枝	箏曲
35	2005	味見 亨	長唄 三味線方
36	2006	野坂恵子	箏曲
37	2007	横道萬里雄*	楽劇評論
38	2008	今藤政太郎	長唄 三味線方
39	2009	藤舎呂船	邦楽囃子
40	2010	近藤乾之助	能楽 宝生流 シテ方
41	2011	豊竹咲大夫	文楽義太夫節大夫
42	2012	清元美治郎	清元節 三味線方
43	2013	今藤尚之	長唄 唄方

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1971	江藤俊哉 *	ヴァイオリン
2	1972	朝比奈 隆 *	指揮
3	1973	東京室内歌劇場	オペラ
4	1974	巖本真理弦楽四重奏団 *	室内楽
5	1975	小澤征爾	指揮
6	1976	鈴木鎮一 *	音楽教育
7	1977	園田高弘 *	ピアノ
8	1978	音楽之友社	音楽総合出版
9	1979	小林道夫	チェンバロ
10	1980	二期会	声楽研究・オペラ公演
11	1981	武満 徹 *	作曲
12	1982	渡辺暁雄 *	指揮
13	1983	札幌交響楽団	オーケストラ
14	1984	野村光一 *	音楽評論
15	1985	東 敦子 *	ソプラノ
16	1986	藤原歌劇団	オペラ
17	1987	堤 剛	チェロ
18	1988	アンリエット・ピュイグ＝ロジエ *	ピアノ
19	1989	吉田雅夫 *	フルート
20	1990	三善 晃 *	作曲
21	1991	若杉 弘 *	指揮
22	1992	中澤 桂	ソプラノ
23	1993	和波孝禧	ヴァイオリン
24	1994	松村禎三 *	作曲
25	1995	今井信子	ヴィオラ
26	1996	秋山和慶と東京交響楽団	
27	1997	畑中良輔 *	バリトン・音楽評論
28	1998	松本美和子	ソプラノ
29	1999	鈴木雅明とバッハ・コレギウム・ジャパン	
30	2000	大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス	
31	2001	西村 朗	作曲
32	2002	海老彰子	ピアノ
33	2003	福井 敬	テノール
34	2004	小栗まち絵	ヴァイオリン
35	2005	中村紘子	ピアノ
36	2006	モーツァルト劇場(主宰:高橋英郎)	オペラ
37	2007	前橋汀子	ヴァイオリン
38	2008	ゲルハルト・ボッセ *	指揮
39	2009	大野和士	指揮
40	2010	田中信昭	合唱指揮
41	2011	公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団	オーケストラ
42	2012	舘野 泉	ピアノ
43	2013	小山実稚恵	ピアノ

(敬称略・\*は故人)

## 東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門奨励賞 歴代受賞者リスト

回	年度	氏名・団体名	
1	1989	吉野直子	ハーブ
2	1990	漆原朝子	ヴァイオリン
3	1991	長谷川陽子	チェロ
4	1992	佐久間由美子	フルート
5	1993	仲道郁代	ピアノ
6	1994	錦織 健	テノール
7	1995	千住真理子	ヴァイオリン
8	1996	高橋薫子	ソプラノ
9	1997	樫本大進	ヴァイオリン
10	1998	若林 顕	ピアノ
11	1999	佐野成宏	テノール
12	2000	横山幸雄	ピアノ
13	2001	森 悠子主宰長岡京室内アンサンブル	
14	2002	矢崎彦太郎	指揮
15	2003	川田知子	ヴァイオリン
16	2004	斉田正子	ソプラノ
17	2005	渡辺玲子	ヴァイオリン
18	2006	篠崎和子	ハーブ
19	2007	藤村実穂子	メゾソプラノ
20	2008	幸田浩子	ソプラノ
21	2009	趙 静	チェロ
22	2010	藤倉大	作曲
23	2011	粟國淳	オペラ演出
24	2012	山崎伸子	チェロ
25	2013	古典四重奏団	弦楽四重奏

(敬称略)